



# 希望の星だより

令和8年 2月号  
 発行 希望の星保育園  
 園長 兼城佐代子  
 編集 田里・渡久地  
 兼城・安村さ  
 ☎972-3800



寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。沖縄では一足早く桜が咲き始め、園庭にも濃いピンク色の寒緋桜が子どもたちの目を楽しませてくれています。「お花咲いてるね」「きれいだね」と桜を見上げる子供たちの声から季節の変わりを感じることができます。

今月は節分や旧正月など、日本の伝統行事に触れる機会が多い季節です。行事を通して季節の移り変わりや文化に親しみながら、子どもたちの心の成長を大切にしていきたいと思います。

年度末が近づき、子どもたちは心も体も大きく成長しています。身の回りのことを自分でやろうとする姿や友達と関わりながら遊ぶ姿が増え、一人ひとりの「できた」がたくさんみられるようになりました。残りの園生活も子どもたちと安心して楽しく過ごせるよう職員一同見守っていききたいと思います。また、寒暖差や空気の乾燥により体調を崩しやすい時期でもあります。

園では引き続き手洗い、うがい、換気をこまめに行い健康管理に十分配慮していきます。



## 2月の行事予定



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 	2 豆まき集会	3 リズム	4 園児健診	5	6 スイミング	7
8	9 避難訓練	10 ムーチー作り 	11 建国記念日	12 歯科健診	13 スイミング	14 ☆☆ リズム参観 (3, 4, 5才児のみ)
15	16 身体測定	17	18	19 お誕生会 (お弁当)	20 スイミング	21
22	23 天皇誕生日	24	25	26	27 スイミング	28

沖縄のムーチーの日って  
どんな日？



由来の  
絵本もあるよ！



ムーチーとは、もち粉を練って月桃（サンニン）の  
葉で包み蒸したお餅のことです。

ムーチーの由来として広く伝わるのは、沖縄は首里、金城に残る鬼の  
伝説です。

…両親を亡くした兄妹の物語で、鬼になってしまった兄を、妹がお餅に  
瓦（鉄）を忍ばせて退治したと語られてきました。

このエピソードから「力（ちから）ムーチー」や「鬼餅」という呼び名が  
生まれ鬼祓いとして餅を供える風習が根付きました。

現代では、特に、子どもの無病息災を願う行事として大切にされています  
保育園でも沖縄の行事、ムーチー作りを体験できるよう、計画しています。



# クラスだより



★保育士に仲立ちしてもらいながら他児とのやりとりを楽しむ。

(0才児) ★色々な音楽に親しみをもちながらピアノに合わせてリズム遊びを楽しむ。

ひよこ組さん全員が歩けるようになり、お散歩もベビーカーなしで園周辺を歩けるようになりました。ビバー公園では自由に走ったり、歩いたりボールを追っかけたりと自分で動いて体を動かす楽しさを感じているようです。

また、お部屋では指先や手の平を使ってブロックをはめたり、はずしたりしてブロック遊びにも夢中です。

今月は、リトミックを取り入れながらお部屋の中でもリズムに合わせて体を動かしてリズム遊びを楽しんでいきたいと思っています。



(2才児)

★「自分でできた」という達成感を共感し自信を持って過ごせるようにする。

新年の風揚げは空に飛ぶ風に大喜び。寒さに負けず元気いっぱい走るうさぎ組さん。散歩や戸外に行くことを伝えると「やったー」と自分で帽子、水筒を用意しています。好きなお友達の名前を伝え、お友達との関りがより一層深まっており、ごっこ遊びでは自分たちで役を決め身近な生活を再現して楽しんでいます。想像力豊かな、やり取りに成長を感じ、思わず笑みがこぼれてしまいます😊

また、食事の準備から片付け、着脱まで殆ど自分で頑張っています。引き続き「自分で」を大切に見守り進級への地震に繋げていきたいと思っています。



(4才児)

★季節の行事を楽しむ友達や保育者と一緒に活動する中で喜びや達成感を味わう。

先日の去った農協まつりでは和太鼓の演舞をご覧頂きありがとうございました。力いっぱい太鼓を叩く姿がとてもしっかりと、もうすぐ年長組になる、らいおん組の成長を感じ感動しました。お休みの方もいらっしゃる中、ご協力ありがとうございました。

さて2月も楽しい行事が盛りだくさんです。豆まき、ムーチーづくり、クッキー作りとワクワクする活動が続きます。またリズム参観ではラインを使って音に合わせながら体を動かして遊ぶ予定です。子ども達のいきいきとした姿を見に来てくれたら嬉しいです。

笑顔をいっぱいの2月になりますよ～に♡



(1才児)

★寒さに負けず体を使った遊びを楽しむ。

新しい年がスタートして早くも一ヶ月が過ぎました。1才児クラスで過ごすのもあと2ヶ月となりましたね。さて、子ども達はどんどん言葉が増え名前を呼んで「一緒に遊ぼう～」と誘いあったり遊具を共有して何かを作り上げたりと友だち同士の関わりも広がっています。また、子ども達はいつでも元気いっぱい!!室内では、リズムジャンプをしたり外ではボール遊びをしながら寒さに負けない体作りを楽しみたいと思います。

空気が乾燥している時期ですがしっかり水分補給を行ったり手洗いをして感染症などの予防に努めていきたいとおもいます。



(3才児)

★自分の気持ちを言葉で表現し、相手のきもちにも気づく

寒い日が続いていますが子ども達は友だちと関りながら毎日元気に過ごしています。

出来ることが増え何でも自信を持って取り組む姿が多くやりたいことを言葉で伝えて楽しめていますよ。最近では「はさみで〇〇切りたい」と細かいイラストも上手に切り取ってごっこ遊びにつなげたりと遊びの幅も広がってきています。また、ルールのある遊びや集団活動にも意欲的に参加し、友だちと一緒に取り組む楽しさを味わえています。その中で自分の思いを言葉で伝えようとする場面もあり話し合いをする様子を見ると成長を感じます。一人ひとりの思いを大切にしながらクラス全体で過ごす時間を楽しんでいきたいと思っています。



(5才児)

★縄跳びや竹馬など、いろんな事にチャレンジして室内外で元気よく遊ぶ。  
★就学への期待や不安を保育者に共感され自信をもって生活する。

先月からぞう組ではミニチャレンジ大会が行われています。縄跳びや竹馬、手編みなどいろんな事に挑戦して「やってみたい!できた」と忍耐力を育てながら達成感を味わい自分のやりたい事に向かって心と体を十分に動かして楽しんでいきたいと思っています。

小学校へ入学する日も近づいています。小学校へ行く事が楽しみになるように、お招き会での一年生と交流を通して、教室やランドセル体験をしたりと期待を高められるようにしていきたいですね。





# 絵本だより

絵本だより 第3号  
希望の星保育園  
令和8年2月1日  
園長 兼城 佐代子  
担当 町田・儀間

## 沖縄のあたたかい冬と絵本の時間 雪のない冬！でも冬の絵本をたのしもう

沖縄の二月は、冬でありながら外遊びが気持ちいい季節ですね。  
このあたたかい冬は、絵本を通して季節の変化を感じるのにぴったりな時期です☆  
保育園では、雪のお話や冬の絵本を取り入れながら「沖縄と違うね」「ここが海だったら？」と季節のズレそのものをテーマにしながら子ども達の想像が膨らむ絵本の時間を楽しんでいます。絵本は内容を理解するよりも、色や音 ページをめくる感覚を味わう事も大切です。ご家庭でもぜひページを開く時間を楽しんでみてくださいね

### おすすめ！

## 冬にちなんだ ちょっとマニアックな絵本



0・1・2歳向け  
感覚が主役の時期☆

「ゆき」 作：ユリ・シュルヴィッツ

←ポイント  
「冬・雪・静けさ」  
ストーリーは追わなくて  
いいんですページをめくる  
体験こそが最高なんです！



「ころころころ」

作 元永定正 ポイント➡  
「冬の静かな時間に読むと  
動きがより際立ちます」



3歳向け  
イメージが繋がりはじめ☆

「おにがでた」 作：谷川俊太郎

←ポイント  
「怖がる子・笑う子にわかれる」  
怖がりつつも笑いにつながる  
冬の楽しみ方を体験！



「ゆきのひ」

作エズラジャックキース  
ポイント➡  
「沖縄の冬と対比しても面白い！」



4歳向け  
物語を自分事にする時期☆

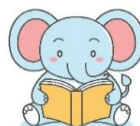
「おにのサラリーマン」 作：富安陽子 他

←ポイント  
「社会性・役割意識に触れ始め  
時期にささる1冊」



「ぼく」

作：谷川俊太郎 ポイント➡  
「説明しない勇気が必要な1冊」  
マニアック視点・結末より途中の違和感に



5歳向け  
構造を味わえる☆

「おにはうち」 作：中川ひろたか 他

←ポイント  
「節分を行事として認識」



「雪きわたり」

作：宮沢賢治  
ポイント➡  
マニアック視点・  
「説明しすぎない読み聞かせ向け」

